

当PDF文書は上に示されている企業に関する詳細レポートのアップデート版として作成されたものです。  
 詳細レポート全体につきましては[弊社ウェブサイト](#)をご覧ください。

2021年7月30日、株式会社ラックランドは、2021年12月期第2四半期決算を発表した。

四半期業績推移 (累計) (百万円)	19年12月期				20年12月期				21年12月期		21年12月期			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	進捗率	上期会予	進捗率	通期会予
売上高	6,821	15,983	25,804	40,367	9,785	19,644	26,838	37,165	8,997	18,717	92.8%	20,160	44.6%	42,000
前期比	-37.0%	-20.4%	-6.9%	-5.8%	43.4%	22.9%	4.0%	-7.9%	-8.1%	-4.7%		2.6%		13.0%
売上総利益	743	2,276	3,679	5,822	1,292	3,028	3,565	4,442	1,576	2,888				
前期比	-34.1%	-10.6%	11.7%	21.9%	73.7%	33.1%	-3.1%	-23.7%	22.0%	-4.6%				
売上総利益率	10.9%	14.2%	14.3%	14.4%	13.2%	15.4%	13.3%	12.0%	17.5%	15.4%				
販管費	1,054	2,324	3,448	4,715	1,208	2,451	3,665	4,940	1,234	2,522				
前期比	8.9%	13.7%	9.1%	7.3%	14.7%	5.4%	6.3%	4.8%	2.1%	2.9%				
売上高販管費比率	15.5%	14.5%	13.4%	11.7%	12.4%	12.5%	13.7%	13.3%	13.7%	13.5%				
営業利益	-310	-49	231	1,107	83	578	-100	-498	341	366	77.1%	475	30.5%	1,200
前期比	-	-	76.2%	190.9%	-	-	-	-	310.6%	-36.6%		-17.8%		-
営業利益率	-	-	0.9%	2.7%	0.8%	2.9%	-	-	3.8%	2.0%		2.4%		-
経常利益	-304	-99	179	1,045	43	600	-49	-388	397	414	82.9%	500	33.1%	1,250
前期比	-	-	24.0%	160.8%	-	-	-	-	815.9%	-31.0%		-16.7%		-
経常利益率	-	-	0.7%	2.6%	0.4%	3.1%	-	-	4.4%	2.2%		2.5%		-
四半期純利益	-209	191	309	916	1	280	-156	-514	275	241	83.1%	290	34.4%	700
前期比	-	-32.2%	3344.1%	925.5%	-	46.4%	-	-	-	-14.0%		3.5%		-
四半期純利益率	-	1.2%	1.2%	2.3%	0.0%	1.4%	-	-	3.1%	1.3%		1.4%		-

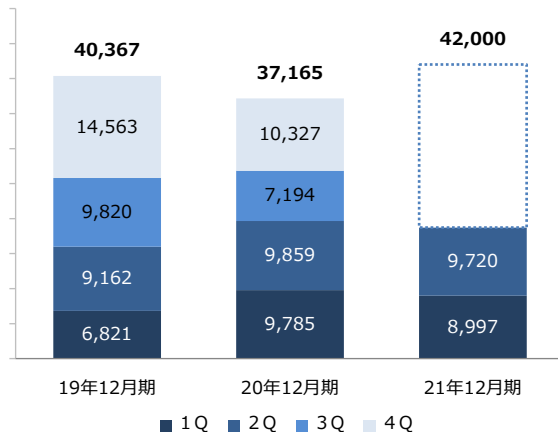
四半期業績推移 (3ヵ月) (百万円)	19年12月期				20年12月期				21年12月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	6,821	9,162	9,820	14,563	9,785	9,859	7,194	10,327	8,997	9,720
前期比	-37.0%	-0.9%	28.3%	-3.7%	43.4%	7.6%	-26.7%	-29.1%	-8.1%	-1.4%
売上総利益	743	1,532	1,403	2,143	1,292	1,737	536	878	1,576	1,313
前期比	-34.1%	8.1%	87.9%	44.5%	73.7%	13.4%	-61.8%	-59.1%	22.0%	-24.4%
売上総利益率	10.9%	16.7%	14.3%	14.7%	13.2%	17.6%	7.5%	8.5%	17.5%	13.5%
販管費	1,054	1,270	1,123	1,268	1,208	1,242	1,214	1,275	1,234	1,288
前期比	8.9%	17.9%	0.6%	2.7%	14.7%	-2.2%	8.1%	0.6%	2.1%	3.7%
売上高販管費比率	15.5%	13.9%	11.4%	8.7%	12.4%	12.6%	16.9%	12.4%	13.7%	13.2%
営業利益	-310	262	280	876	83	495	-678	-398	341	25
前期比	-	-23.2%	-	251.2%	-	88.9%	-	-	310.6%	-95.0%
営業利益率	-	2.9%	2.8%	6.0%	0.8%	5.0%	-	-	3.8%	0.3%
経常利益	-304	205	278	866	43	557	-649	-339	397	17
前期比	-	-45.0%	-	237.8%	-	171.7%	-	-	815.9%	-96.9%
経常利益率	-	2.2%	2.8%	5.9%	0.4%	5.6%	-	-	4.4%	0.2%
四半期純利益	-209	400	118	606	1	279	-436	-358	275	-34
前期比	-	81.9%	-	654.8%	-	-30.2%	-	-	-	-
四半期純利益率	-	4.4%	1.2%	4.2%	0.0%	2.8%	-	-	3.1%	-

出所：会社データよりSR社作成

\*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意。

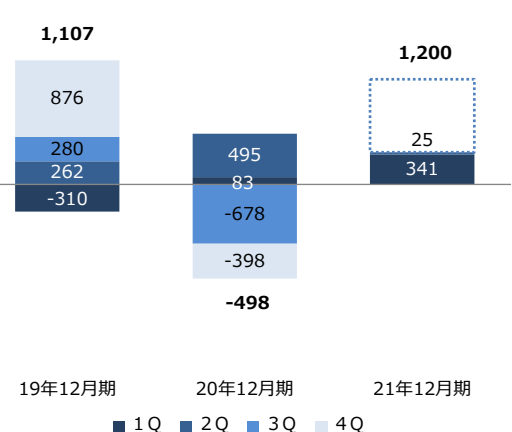
### 四半期売上高の推移

(百万円)



### 四半期営業利益の推移

(百万円)



出所：会社データよりSR社作成

## 四半期別売上高推移 (累計)

事業分野別販売高 (百万円)	19年12月期				20年12月期				21年12月期	
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q
売上高	6,821	15,983	25,804	40,367	9,785	19,644	26,838	37,165	8,997	18,717
(前年比)	-37.0%	-20.4%	-6.9%	-5.8%	43.4%	22.9%	4.0%	-7.9%	-8.1%	-4.7%
店舗施設の企画制作事業	4,002	8,886	12,189	17,428	4,039	9,187	11,895	16,266	4,362	8,191
(前年比)	4.3%	-3.5%	-3.2%	-11.2%	0.9%	3.4%	-2.4%	-6.7%	8.0%	-10.8%
(構成比)	58.7%	55.6%	47.2%	43.2%	41.3%	46.8%	44.3%	43.8%	48.5%	43.8%
商業施設の企画制作事業	956	2,485	4,751	7,522	3,113	5,609	7,357	9,325	2,307	5,749
(前年比)	-27.0%	-24.5%	2.4%	0.2%	225.6%	125.7%	54.9%	24.0%	-25.9%	2.5%
(構成比)	14.0%	15.5%	18.4%	18.6%	31.8%	28.6%	27.4%	25.1%	25.6%	30.7%
食品工場・物流倉庫の企画制作事業	744	1,337	2,273	3,184	707	1,099	1,556	2,219	789	1,423
(前年比)	-33.2%	-28.9%	-38.4%	-38.2%	-5.0%	-17.8%	-31.5%	-30.3%	11.6%	29.5%
(構成比)	10.9%	8.4%	8.8%	7.9%	7.2%	5.6%	5.8%	6.0%	8.8%	7.6%
店舗メンテナンス事業	420	936	1,544	2,097	513	976	1,490	2,053	486	1,029
(前年比)	3.2%	6.7%	10.5%	11.2%	22.1%	4.3%	-3.5%	-2.1%	-5.3%	5.4%
(構成比)	6.2%	5.9%	6.0%	5.2%	5.2%	5.0%	5.6%	5.5%	5.4%	5.5%
省エネ・CO2削減事業	55	100	142	179	32	78	116	151	44	79
(前年比)	-23.6%	-47.9%	-43.4%	-43.6%	-41.8%	-22.0%	-18.3%	-15.8%	37.5%	1.3%
(構成比)	0.8%	0.6%	0.6%	0.4%	0.3%	0.4%	0.4%	0.4%	0.5%	0.4%
建築事業	642	2,236	4,901	9,957	1,377	2,693	4,420	7,152	1,006	2,242
(前年比)	-84.3%	-51.6%	-4.8%	19.1%	114.5%	20.4%	-9.8%	-28.2%	-26.9%	-16.7%
(構成比)	9.4%	14.0%	19.0%	24.7%	14.1%	13.7%	16.5%	19.2%	11.2%	12.0%
部門別売上高 (百万円)	19年12月期				20年12月期				21年12月期	
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q
売上高	6,821	15,983	25,804	40,367	9,785	19,644	26,838	37,165	8,997	18,717
スーパーマーケット関連部門	2,132	5,769	9,480	13,139	2,581	6,325	8,651	12,505	3,660	5,963
(前年比)	-18.2%	-12.7%	15.3%	-1.2%	21.1%	9.6%	-8.7%	-4.8%	41.8%	-5.7%
(構成比)	31.3%	36.1%	36.7%	32.5%	26.4%	32.2%	32.2%	33.6%	40.7%	31.9%
フードシステム関連部門	4,180	9,121	14,561	24,848	6,630	12,216	16,506	22,361	4,784	11,618
(前年比)	-45.9%	-26.6%	-18.5%	-9.1%	58.6%	33.9%	13.4%	-10.0%	-27.8%	-4.9%
(構成比)	61.3%	57.1%	56.4%	61.6%	67.8%	62.2%	61.5%	60.2%	53.2%	62.1%
保守メンテナンス部門	507	1,092	1,761	2,379	572	1,102	1,680	2,299	551	1,135
(前年比)	2.8%	4.4%	7.1%	7.2%	12.8%	0.9%	-4.6%	-3.4%	-3.7%	3.0%
(構成比)	7.4%	6.8%	6.8%	5.9%	5.8%	5.6%	6.3%	6.2%	6.1%	6.1%

## 四半期別売上高推移 (3か月)

事業分野別販売高 (百万円)	19年12月期				20年12月期				21年12月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	6,821	9,162	9,820	14,563	9,785	9,859	7,194	10,327	8,997	9,720
(前年比)	-37.0%	-0.9%	28.3%	-3.7%	43.4%	7.6%	-26.7%	-29.1%	-8.1%	-1.4%
店舗施設の企画制作事業	4,002	4,884	3,303	5,239	4,039	5,148	2,708	4,371	4,362	3,829
(前年比)	4.3%	-9.1%	-2.5%	-25.4%	0.9%	5.4%	-18.0%	-16.6%	8.0%	-25.6%
(構成比)	58.7%	53.3%	33.6%	36.0%	41.3%	52.2%	37.6%	42.3%	48.5%	39.4%
商業施設の企画制作事業	956	1,529	2,266	2,771	3,113	2,496	1,748	1,968	2,307	3,442
(前年比)	-27.0%	-22.9%	68.0%	-3.3%	225.6%	63.2%	-22.9%	-29.0%	-25.9%	37.9%
(構成比)	14.0%	16.7%	23.1%	19.0%	31.8%	25.3%	24.3%	19.1%	25.6%	35.4%
食品工場・物流倉庫の企画制作事業	744	593	936	911	707	392	457	663	789	634
(前年比)	-33.2%	-22.8%	-48.3%	-37.7%	-5.0%	-33.9%	-51.2%	-27.2%	11.6%	61.7%
(構成比)	10.9%	6.5%	9.5%	6.3%	7.2%	4.0%	6.4%	6.4%	8.8%	6.5%
店舗メンテナンス事業	420	516	608	553	513	463	514	563	486	543
(前年比)	3.2%	9.8%	16.9%	13.1%	22.1%	-10.3%	-15.5%	1.8%	-5.3%	17.3%
(構成比)	6.2%	5.6%	6.2%	3.8%	5.2%	4.7%	7.1%	5.4%	5.4%	5.6%
省エネ・CO2削減事業	55	45	42	37	32	46	38	35	44	35
(前年比)	-23.6%	-62.5%	-28.8%	-44.4%	-41.8%	2.2%	-9.5%	-6.1%	37.5%	-23.9%
(構成比)	0.8%	0.5%	0.4%	0.3%	0.3%	0.5%	0.5%	0.3%	0.5%	0.4%
建築事業	642	1,594	2,665	5,056	1,377	1,316	1,727	2,732	1,006	1,236
(前年比)	-84.3%	197.4%	403.8%	57.2%	114.5%	-17.4%	-35.2%	-46.0%	-26.9%	-6.1%
(構成比)	9.4%	17.4%	27.1%	34.7%	14.1%	13.3%	24.0%	26.5%	11.2%	12.7%
部門別売上高 (百万円)	19年12月期				20年12月期				21年12月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	6,821	9,162	9,820	14,563	9,785	9,859	7,194	10,327	8,997	9,720
スーパーマーケット関連部門	2,132	3,637	3,711	3,659	2,581	3,744	2,326	3,854	3,660	2,303
(前年比)	-18.2%	-9.1%	129.5%	-27.9%	21.1%	2.9%	-37.3%	5.3%	41.8%	-38.5%
(構成比)	31.3%	39.7%	37.8%	25.1%	26.4%	38.0%	32.3%	37.3%	40.7%	23.7%
フードシステム関連部門	4,180	4,941	5,440	10,287	6,630	5,586	4,290	5,855	4,784	6,834
(前年比)	-45.9%	5.2%	0.0%	8.7%	58.6%	13.1%	-21.1%	-43.1%	-27.8%	22.3%
(構成比)	61.3%	53.9%	55.4%	70.6%	67.8%	56.7%	59.6%	56.7%	53.2%	70.3%
保守メンテナンス部門	507	585	669	618	572	530	578	619	551	584
(前年比)	2.8%	5.8%	11.7%	7.5%	12.8%	-9.4%	-13.6%	0.2%	-3.7%	10.2%
(構成比)	7.4%	6.4%	6.8%	4.2%	5.8%	5.4%	8.0%	6.0%	6.1%	6.0%

会社データよりSR社作成

\*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意。

## 2021年12月期第2四半期実績（2021年7月30日発表）

### 決算概要

2021年12月期第2四半期（2021年1月～6月）実績

- ▷ 売上高：18,717百万円（前年同期比4.7%減）
- ▷ 営業利益：366百万円（同36.6%減）
- ▷ 経常利益：414百万円（同31.0%減）
- ▷ 親会社株主に帰属する四半期純利益：241百万円（同14.0%減）

### 事業環境

同社は街角景気判断DI（内閣府）、第3次産業活動指数（経済産業省）、マネタリーベース平均残高（日本銀行）の動向を注視。景気の現状判断DI・先行き判断DIや、第3次産業活動指数については、新型コロナウイルス感染症収束の目途は立っていないことから、両指標の回復は一進一退の状況である。マネタリーベース平均残高の伸び率も2020年初期には+0%近辺に低下して景気押し上げ効果は薄れていたが、日銀は新型コロナウイルス感染症の拡大を契機にマネタリーベース平均残高の伸び率（同）を再度高めている。当第2四半期連結累計期間の同社グループを取りまく経済環境については、最悪期は脱しているものの、東京など主要都市圏に数回にわたって緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令・解除が繰り返されていることもあり、依然として厳しい状況が続いている、と同社は判断している。

### 減収増益

2021年12月期第2四半期累計実績は、新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たないことから同社顧客の先行きに対する懸念や不透明感が強く、様々な方面での活動制限もあり、売上高は前年同期を下回った。営業利益は減益となったものの、現場体制の進化や原価削減の取組みを進め、売上総利益率は前年同期並みの15.4%を維持した。

### 事業分野別の取り組みおよび動向

#### 店舗施設の企画制作事業

- ▷ 2021年12月期第2四半期累計売上高：8,191百万円（前年同期比10.8%減）

#### 施設需要の変化

同社の中心事業であるが、近年ではネットショッピングの需要が一段と高まり、発展していく中で、今後は店舗の役割や意義が変わってくることもあり得る、と同社は考えている。従来の顧客であるスーパーマーケットや飲食店、小売店に加え、様々な業態の店舗施設の開拓を進めた。また、企画・設計・施工に関する現場力（技術者）の内製化を進めることで、単なる施工から、付加価値をつけた提案も手掛けた。ウィズコロナ・アフターコロナにも適応できるデリバリー専門店やシェアキッチンなどの出展支援サービスも提供。

#### 商業施設の企画制作事業

- ▷ 2021年12月期第2四半期累計売上高：5,749百万円（同2.5%増）

### 事業状況

複数テナントを有する商業施設（テナント及び共用部工事を含む）と建築設備事業を基幹分野のひとつとして位置付けている。引き続き大手デベロッパーや電鉄系の顧客を開拓し、受注件数は増加傾向にある。店舗施設と同様に新型コロナウイルス感染症の影響を受けやすい分野で、顧客の経営状況が厳しく、新規事業計画などに慎重であったが、第2四半期累計の売上高は前年同期を上回った。新型コロナウイルス感染症が収束に向かうと想定している下半期に向けて需要は回復する、と同社は見込んでいる。

### 食品工場、物流倉庫の企画制作事業

▷ 2021年12月期第2四半期累計売上高：1,423百万円（同29.5%増）

#### 事業状況

同社設立からの基幹技術である冷凍冷蔵技術を生かす重要分野、近年は大手ゼネコンやエンジニアリング会社からの受注獲得を目指し、営業活動を強化。売上高は、物流倉庫の令設工事や改修工事等が寄与し増収となった。グループ会社の株式会社ハイブリッドラボは、食品加工技術の研究開発及び食品加工を基幹事業としており、2020年10月に、製造業の設計に特化した株式会社O2（オーツー）と業務提携契約を締結した。目下、「未来ファクトリープロジェクト」の一環として、SDGsも見据えつつ、水産加工工場をはじめ製造業全般においても生産性の高いソリューションを提供するための研究開発を進めている。同社では、今後、ハイブリッドラボ社で開発した技術が当該分野発展のけん引役となる、と期待している。

### 店舗メンテナンス事業

▷ 2021年12月期第2四半期累計売上高：1,029百万円（同5.4%増）

#### メンテナンス店舗数増加

メンテナンス営業の専門チームを立ち上げ、新規顧客の開拓を継続。新規の保守メンテナンス店舗数は前年末より約4,200件以上増加し、総数では21,500件を突破。2021年4月には、中国地方の拠点として島根メンテナンスステーションを開設、同年6月には甲信越地方の拠点として新潟メンテナンスステーションを開設。また新規事業として食品工場向けの常駐型設備メンテナンスサービス事業を行っている。ループのエースセンター株式会社が担うビルメンテナンス事業は主力分野のひとつである。

### 省エネ・CO2削減事業

▷ 2021年12月期第2四半期累計売上高：79百万円（同1.3%増）

#### 事業状況

LED主力商品のリニューアル製品は、2020年5月に日本ピー・アイ株式会社から発売となった。エアコンレンタルから始まったレンタル事業では、エアコン以外の導入事例も徐々に増えている。食洗器、電気フライヤーをはじめ、高圧受電設備やガスヒートポンプなどを組み合わせてレンタルできるカスタマイズレンタルも展開し、工事以外の分野でも営業活動に注力する方針。

### 建築事業

▷ 2021年12月期第2四半期累計売上高：2,242百万円（同16.7%減）

#### 事業拡大

当事業では、工期が長期化するうえ、受注規模の大きい案件も多いことから、四半期毎の売上高、利益の振幅が大きくなる傾向があり、当第2四半期累計期間では減収となった。しかし同社では、短期的な景気動向の影響を受けにくい事業分野でもある、と考えている。耐震診断と補強工事中心から、建物の躯体から内装まで同社グループですべて対応可能な体制となったことから、新築・増築にも対応可能となっている。今後は、設計も含めた施工体制の充実を図る方針。

このリサーチメモは、掲載企業の[最新版レポート](#)にも掲載されています。

株式会社シェアードリサーチは今までにない画期的な形で日本企業の基本データや分析レポートのプラットフォーム提供を目指しています。さらに、徹底した分析のもとに顧客企業のレポートを掲載し随時更新しています。

### ディスクレーム

本レポートは、情報提供のみを目的としております。投資に関する意見や判断を提供するものでも、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。SR Inc.は、本レポートに記載されたデータの信憑性や解釈については、明示された場合と黙示の場合の両方につき、一切の保証を行わないものとします。SR Inc.は本レポートの使用により発生した損害について一切の責任を負いません。

本レポートの著作権、ならびに本レポートとその他Shared Researchレポートの派生品の作成および利用についての権利は、SR Inc.に帰属します。本レポートは、個人目的の使用においては複製および修正が許されていますが、配布・転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。

SR Inc.の役員および従業員は、SR Inc.の調査レポートで対象としている企業の発行する有価証券に関して何らかの取引を行っており、または将来行う可能性があります。そのため、SR Inc.の役員および従業員は、該当企業に対し、本レポートの客観性に影響を与える利害を有する可能性があることにご留意ください。

### 金融商品取引法に基づく表示

本レポートの対象となる企業への投資または同企業が発行する有価証券への投資についての判断につながる意見が本レポートに含まれている場合、その意見は、同企業からSR Inc.への対価の支払と引き換えに盛り込まれたものであるか、同企業とSR Inc.の間に存在する当該対価の受け取りについての約束に基づいたものです。

### 連絡先

株式会社シェアードリサーチ / Shared Research Inc.

東京都文京区千駄木3-31-12

HP: <https://sharedresearch.jp>

TEL : (03)5834-8787

Email: [info@sharedresearch.jp](mailto:info@sharedresearch.jp)